

<報道発表資料>

(経済同時)

令和7年10月22日

京都市産業観光局クリエイティブ産業振興室

アニメーション教育ミートアップを開催

—学びと創造が交差する、新しいコミュニティのかたち—

京都市では、マンガ、アニメ、ゲームなどのコンテンツ産業の振興に取り組んでおり、「京都国際マンガ・アニメフェア」を通じた作品とファンの交流を深める場の提供に加え、クリエイター育成やクリエイターを目指す方のキャリア形成に資する取組を行っています。

この度、アニメーションを学ぶ学生同士が連携し、学校の枠を超えてコミュニティを生み出すことを目的とした、カンファレンスイベントを開催します。

イベントでは、アニメーション教育の未来像に関する講演や、最新技術やトレンドについてのトークセッション、学生が自身の作品やポートフォリオを共有できるプレゼンテーション等を行います。



【概要】

- 日 時 令和7年11月9日(日) 午後1時～5時 (開場：午後0時30分)
- 場 所 京都デザイン&テクノロジー専門学校 (京都市下京区柿本町596)
- 定 員 80名
- 参加費 無料
- 申 込 令和7年10月22日(水)～令和7年11月8日(土)にHP (<https://creators-gate.com/form/>)からお申込みください。

【各プログラムについて】

<オープニング/キーノートスピーチ>（40分）

- テーマ アニメーション教育・社会実装・プロデュースについて
- 講師 岡本美津子氏（東京藝術大学 大学院映像研究科アニメーション専攻/教授）
- 内容 日中韓やASEANとの共同制作プロジェクトを通じて、国際的なアニメーション教育を推進されてきた岡本氏による、「プロデュース力」「異文化協働」「社会実装」の三本柱を軸とした、アニメーション教育の未来像に関する講演。個人表現と社会との接続性をどう両立させるかを探ります。

<京都コンテンツ教育トーク>（60分）

- テーマ 芸術大学におけるアニメーション教育の今とこれから
- 講師 岡本美津子氏（東京藝術大学 大学院映像研究科アニメーション専攻/教授）
下村浩一氏（京都精華大学 マンガ学部アニメーション学科アニメーションコース/教授）
端地美鈴氏（京都芸術大学 キャラクターデザイン学科/専任講師）
- 内容 芸術大学におけるアニメーション教育をテーマに、現在の教育現場と今後の展望を語ります。各大学での教育アプローチやカリキュラムの特徴、学生の創造性を育むための環境づくり、産業界との連携のあり方などを通じて、これからのアニメーション教育の可能性を探るトークセッション。

<学生作品ライトニングトーク（10分×3団体）>（30分）

- 登壇者 京都芸術大学、京都精華大学、立命館大学に通う学生
- 内容 各大学から選抜された学生による、自らの制作プロセスや作品に込めた想い、学びの成果に関わる短時間のプレゼンテーション。次世代を担う若手クリエイターたちが、学校や分野を越えて互いに刺激し合い、新たな表現やコラボレーションのきっかけを生み出す場となります。

<京都コンテンツクロストーク>（60分）

- テーマ 「つくる・そだてる・届ける」
- 登壇者 岡本美津子氏（東京藝術大学 大学院映像研究科 教授）
下村浩一氏（京都精華大学 マンガ学部アニメーション学科 教授）
端地美鈴氏（京都芸術大学 キャラクターデザイン学科 専任講師）
森岡東洋志氏（BASSDRUM テクニカルディレクター）
小宮 彬広氏（株式会社グラフィニカ 京都スタジオ代表/技術開発室室長）
- 内容 京都を拠点にアニメーション教育とコンテンツ産業の未来を多角的に語るクロストーク。アニメーション教育と最新テクノロジー、そして産業連携の最前線を横断し、京都からどのように次世代のクリエイター育成とコンテンツ発信を行っていけるのかを議論します。

<講師について>

	<u>岡本 美津子（おかもと みつこ）氏</u> （東京藝術大学大学院映像研究科 教授） 1987-NHK 入局、2008-東京藝術大学大学院映像研究科教授。NHK「2355」「0655」（月～金 E テレ 2010-放送中）のチーフプロデューサー、文化庁マンガ・アニメ等中間生成物の保存活用検討委員会 アニメ分野座長、「芸術選奨」選考審査員(2022-)ほか
	<u>下村 浩一（しもむら こういち）氏</u> （京都精華大学マンガ学部アニメーション学科 教授） 1995 年に株式会社サテライトへ入社し、アニメーション制作に携る。『マクロスゼロ』『スチームボーイ』『創聖のアクエリオン』等、多くのアニメーション作品で 3DCG および撮影を担当。アニメに限らず、3D を活用したコンテンツ制作にも従事している。
	<u>端地 美鈴（はしじ みすず）氏</u> （京都芸術大学キャラクターデザイン学科 専任講師） アニメーション作家。紙への鉛筆でのドローイングと、消しゴムの消しカスを使用したアニメーションを独自の表現方法として確立。身近な素材を用いて制作する手法で、ミュージックビデオ、プロモーションビデオなどを制作する。
	<u>森岡 東洋志（もりおか とよし）氏</u> （BASSDRUM テクニカルディレクター） 長編アニメ映画のシステム開発や、TouchDesigner のワークショップを通じたテック人材の育成などに携わる。昨年 11 月に日本のアニメ業界の未来を支えるチーム「ADX」を設立。大阪芸術大学 非常勤講師。
	<u>小宮 彬広（こみや あきひろ）氏</u> （株式会社グラフィニカ京都スタジオ代表/技術開発室室長） 2000 年から CG デザイナーとして活動。2017 年にグラフィニカ京都スタジオを設立し代表就任。Unreal Engine 開発を中心に R&D を推進。「Forest Tale」で SIGGRAPH ASIA2024 最優秀論文賞を受賞。

<京都デザイン&テクノロジー専門学校へのアクセス>

● 公共交通機関でのアクセス

- ・ JR 山陰本線「丹波口駅」：徒歩約 10 分
- ・ 京都市営地下鉄烏丸線 「五条駅」：徒歩約 14 分
- ・ 阪急京都線、京福電鉄嵐山線 「大宮駅」：徒歩約 13 分
- ・ 京都市バス「大宮五条」、「堀川五条」：徒歩約 1 分
- ・ JR、近鉄、地下鉄各線「京都駅」：自転車約 10 分

● 自転車でお越しの方

- ・ 校舎北側の地下駐輪場をご利用ください。
 - ※ バイクの駐車はできません。
 - ※ 駐車場はございません。公共交通機関での来場を推奨します。

<Creators Gate について>

京都市では、「Creators Gate」と題して、業界関係者、専門家、教育機関等と連携し、学生、若手クリエイターを対象としたアニメ、映像制作におけるデジタルツールのスキルアップやコミュニティづくりを行っています。

<https://creators-gate.com/>



Creators Gate ロゴ

<お問合せ先>

京都市産業観光局クリエイティブ産業振興室

電話：075-222-3306